



東桜学館 SSH 事業のねらいは、生徒の皆さんに「3つの力」と「2つの態度」を身に付けさせることです。

質 問	評 価 基 準			
	1	2	3	4
1.探究する力				
①課題を設定する力	検証可能な課題を自分で考え、 <u>設定することができない。</u>	検証可能な課題を自分で設定はできるが、根拠や目的を自分で <u>具体的に考えることができない。</u>	検証可能な課題を自分で設定し、根拠や目的も自分で <u>具体的に考えることができる。</u>	根拠や目的を具体化した検証可能な課題を設定でき、先を見通した <u>具体的な計画にすることができる。</u>
②情報収集する力	インターネット以外で、先行研究等の情報を自分で <u>収集できない。</u>	インターネット以外でも、先行研究等の情報を書籍・論文等で <u>一部収集することができる。</u>	インターネット以外でも、先行研究等の情報を書籍・論文等で <u>必要に応じて収集することができる。</u>	先行研究等の論文を2本以上読み、 <u>オリジナルの課題を生み出し</u> 、調べた情報を活用することができる。
③整理・分析する力	収集した情報や実験結果等を <u>組み合わせることができず</u> 、これらを課題解決に用いることもできない。	収集した情報や実験結果等を <u>組み合わせることはできるが</u> 、これらを課題解決に用いることができない。	収集した情報や実験結果等を組合わせて、これらを課題解決の一部に用いることができる。	収集した情報や実験結果等を組合わせて、これらを課題の真偽判断に用いて結論を導くことができる。
④まとめ・表現する力 (プレゼンテーション力)	発表者の意図が伝わる <u>グラフや図表が作成できない。</u> 聴衆の反応を意識して、 <u>大きな声で発表ができない。</u>	発表者の意図が伝わる <u>グラフや図表が作成できる。</u> 聴衆の反応を意識して、 <u>大きな声で発表ができない。</u>	発表者の意図が伝わるグラフや図表が作成できる。聴衆の反応を意識して、 <u>大きな声で発表ができる。</u>	発表者の意図が伝わるグラフや図表を作成し、自信を持って発表ができ、 <u>質問にも的確に答えられる。</u>
2.科学的思考力				
⑤身近な自然から問題を見つけ、見通しを持って考察(実験・観察)し課題を解決する力	検証可能な <u>仮説設定や十分な実験ができていない。</u>	課題が設定できているが、その解決に向けた <u>仮説の設定が不十分</u> である。	課題の解決のための <u>仮説や見通しを設定することができる。</u>	課題の解決のために設定した <u>仮説や見通し・予備実験などの根拠が明確</u> である。
⑥根拠を示し論理的に説明する力	仮説を <u>検証できない。</u> または、 <u>結論に達していない。</u>	<u>結論は得られているが</u> 、根拠が曖昧で <u>仮説の審議の検証が不十分</u> である。	仮説を検証できるだけの <u>定性的・定量的な結果が得られ</u> 、 <u>概ね論理的に結論を導くことができる。</u>	仮説を検証できるだけの定性的・定量的な結果が得られ、 <u>論理的に結論を導くことができる。</u>
3.他者を理解し協働する力				
⑦他者と対話し、理解する力	グループや聴衆との <u>意見交換が不十分</u> であり、 <u>相手を理解するに至らない。</u>	必要に応じてグループや聴衆と <u>意見交換を通して</u> 、 <u>相手の考えを知ることができる。</u>	グループや聴衆と <u>適切な議論を通して</u> 、相手の考えを理解することができる。	グループや聴衆と <u>十分に議論を行い</u> 、相手の考えを尊重し、 <u>相互で理解し合うことができる。</u>
⑧仲間と力を合わせて活動する力	<u>役割分担が決定していない</u> ため、発表や諸活動を行うことができない。 <u>情報の共有ができていない。</u>	<u>適切に役割分担して</u> 、発表や諸活動を行うことができるが、情報の共有はできていない。	適切に役割分担して、発表や諸活動を行うことができ、 <u>情報の共有も一部できる。</u>	適切に役割分担して発表や諸活動も行っており、 <u>情報の共有もでき</u> 、 <u>班内で協働ができています。</u>
4.未来への責任に関する態度				
⑨持続可能な未来をつくらうとする態度	人類社会を持続可能にするために必要な事柄を <u>考えようとする気持ちが無い。</u>	人類社会を持続可能にするために必要な事柄を <u>考えようとする気持ちがある。</u>	人類社会を持続可能にするために <u>必要な事柄を考えることができる。</u>	人類社会の持続可能な <u>未来について考え</u> 、後世に伝え残すために <u>必要な行動ができる。</u>
5.地域への貢献に関する態度				
⑩郷土を理解し愛する気持ち	自分が暮らす郷土について、 <u>興味や関心が無い。</u>	自分が暮らす郷土について <u>見聞を広め</u> 、郷土の <u>魅力に気づくことができる。</u>	自分が暮らす郷土について見聞を広め、郷土の <u>魅力に気づき</u> 、 <u>愛着を持つことができる。</u>	自分が暮らす郷土について見聞を広め、郷土の <u>魅力を創造・発信することができる。</u>
⑪地域参画力 (地域のために役に立とうとする気持ち)	地域に <u>貢献していこうとする気持ちが無い。</u>	より良い地域の将来について、 <u>前向きに考えることができる。</u>	より良い地域の <u>将来を見据え</u> 、 <u>自分が何をすべきか考えることができる。</u>	より良い地域の将来を考え、 <u>積極的に地域と関わる活動の創生・参加を行うことができる。</u>

現在の自分自身と目指すべき自分の理想像を照らし合わせてみよう！

